

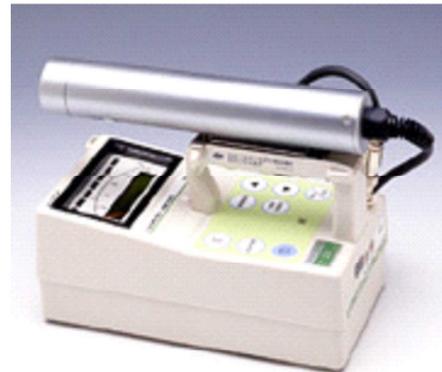
Q12 処分場に蓄積された放射性物質による影響はないの？

A12

- 処分場に埋め立てられた廃棄物中の放射性物質が周辺環境に影響を及ぼす可能性としては、大気への飛散と河川・地下水へ流出する経路が考えられます。
- 焼却灰などの廃棄物を埋め立てる際には、飛散防止のために覆土することや、放射性セシウムが排水に溶け出す恐れがある一方、土壌に吸着されやすいという性質があることから、50cm以上の土壌層の上に埋め立てることとされています。
- また、管理型の一般廃棄物処分場では、地下水の汚染防止のための遮水シート等が敷設されており、地下水を汚染することがない構造となっています。
- このような対策が講じられることから、周辺環境への影響はないものと考えていますが、安全確認のため、処分場敷地境界での空間放射線量率や排水中の放射性物質濃度などの測定を定期的を実施しています。
- これまでの測定調査では、いずれの項目においても放射性セシウムは不検出若しくは極めて低い値であり、問題のないレベルであることを確認しています。



最終処分場敷地境界での空間放射線量測定



出典：日立アロカメディカル（株）HP

空間放射線量を測定する携帯式の「シンチレーションサーベメータ」



地下水の採取



放流水の採取

可燃物受入自治体の最終処分場における放射能測定結果
 (平成24年4月～平成25年7月)

	大仙美郷 環境事業 組合	秋田市	横手市	由利本荘市		湯沢雄勝 広域市町 村圏組合	
				広域	矢島島海		
敷地境界での空間線量率 (単位：マイクロシーベルト/時)	0.08	0.06	0.08	0.08	0.06	0.06	
バックグラウンド値 (単位：マイクロシーベルト/時)	0.07	0.04	0.07	0.08	0.06	0.06	
放流水 (単位： μクレル /kg)	セシウム134 (検出下限の最大値)	不検出 (8)	不検出 (0.55)	不検出 (0.62)	不検出 (0.29)	不検出 (0.36)	不検出 (0.57)
	セシウム137 (検出下限の最大値)	不検出 (0.53)	0.84 (0.60)	0.43 ^{※1} (0.54)	不検出 (0.41)	不検出 (0.28)	不検出 (0.58)
地下水 (単位： μクレル /kg)	セシウム134 (検出下限の最大値)	不検出 (7.3)	不検出 (0.55)	不検出 (0.56)	不検出 (0.40)	不検出 (0.44)	不検出 (0.55)
	セシウム137 (検出下限の最大値)	不検出 (0.58)	不検出 (0.60)	不検出 (0.57)	不検出 (0.48)	不検出 (0.47)	不検出 (0.54)
土 壤 (単位： μクレル /kg)	セシウム134 (検出下限の最大値)	不検出 (11)	不検出 (5.3)	不検出 (6.4)	不検出 (6.0)	不検出 (5.3)	不検出 (7.1)
	セシウム137 (検出下限の最大値)	21 (10)	不検出 (7.5)	不検出 (7.2)	不検出 (7.2)	不検出 (7.4)	不検出 (5.6)
排水^{※2} 汚泥 (単位： μクレル /kg)	セシウム134 (検出下限の最大値)			不検出 (7.9)			不検出 (9.5)
	セシウム137 (検出下限の最大値)			不検出 (8.9)			不検出 (8.9)
河川水^{※2} (単位： μクレル /kg)	セシウム134 (検出下限の最大値)				不検出 (0.44)	不検出 (0.43)	不検出 (0.48)
	セシウム137 (検出下限の最大値)				不検出 (0.40)	不検出 (0.34)	不検出 (0.48)

※1：空間放射線量率及び放射性セシウム濃度の値は、いずれも調査期間中の最大値であるため、検出値が下限値より低くなっている。

※2：受入自治体からの要望に応じて、処分場周辺の河川水などの測定調査を行っている。